

地域科学技術イノベーション推進委員会 現地調査(三重視察)概要

地域の科学技術に係る現状と課題を把握するため、現場でSTI活動に取り組む企業を訪問し、地域発イノベーションの好事例を調査した。

調査日 平成30年10月2日(火)

調査場所 株式会社浅井農園(三重県津市)、うれし野アグリ株式会社(三重県松坂市)

メンバー 須藤主査、串岡委員、斉藤委員、西村委員、林委員、福嶋委員、松原委員

株式会社浅井農園 (代表取締役: 浅井雄一郎 氏)

- ✓ 緑化樹木生産業として1907年に創業。2008年に第二創業としてミニトマト生産を開始。
- ✓ 農業バリューチェーンの最適化に取り組み、生産に加え、研究開発・流通も手掛ける。
- ✓ 生産圃場を研究農場とし、全社員が研究テーマを持つ。→ 目指すは“農学士集団”
- ✓ 「国内産地間競争」から「生産者連携による競争力向上」へのパラダイムシフトに取り組む。



<本社でのプレゼン&ディスカッション>



<技術研究所視察>

うれし野アグリ株式会社 (代表取締役: 辻保彦 氏)

- ✓ (株)浅井農園【農】、三井物産(株)【商】、辻製油(株)【工】の出資により2013年に設立。
- ✓ 三重県内の間伐材由来のバイオマス蒸気・植物油製造工場の排熱を熱源としたバイオマスカスケード利用による新たな事業モデルを構築。



<ガラス温室外景(2ha)>



<温室内視察>